

よくわかる！

習志野市公共施設再生計画

公共施設が生まれ変わって学びと活動の拠点が誕生！

老朽化し、寿命を迎えつつある公共施設。

「習志野市公共施設再生計画」は、施設をよりよい形に生まれ変わらせるまちづくりの一環です。

では、一体どんな施設になるのでしょうか？

※公共施設とは…

学校や公民館、図書館など、市がつくった建物のことだよ。みなさんも一度は利用したことがあるよね。

* PROJECT

大久保地区の新しい公共施設の展望

大久保駅南側に新しくできる公共施設。新しいサービスがいっぱいで、とっても楽しみだね！



こどもが遊びを創造する仕組みづくり！

公園を活用してこどもたちが自由に遊べるプレイパークを開催

↓
遊びのコーディネーター役、「プレイリーダー」が遊びを通してコミュニケーションの促進を図ります

プレイパークとは
禁止事項をできるだけ無くし、こどもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ遊び場」。

市民による地域課題解決をサポート！

- ・まちの課題を話し合う場 **フューチャーセンター** を定期的に開催
- ↓
- ・対話をまとめる専門家、**ファシリテーター** が意見を取りまとめ
- ↓
- ・**コーディネーター** が実現に向けたサポート活動

施設の利用が **夜10時まで!**
(図書館は夜8時)

南館

こどもスペース
アリーナ・多目的室など
平成31年11月
オープン

北館

図書館・公民館・ホール
平成31年11月
オープン

北館(別棟)

図書館の一部
平成32年7月
オープン

民間施設

カフェ・コミュニティハウス
平成33年
オープン予定

みんなが集い交わる、生涯学習と市民活動の拠点になっていくんだね。



平成30年4月
工事開始
予定です。



*OPINION みんなは公共施設再生計画をどのように考えているの？

公共施設再生計画は、みんなで一緒に作って行く新しい計画です。新しい公共施設は行政にお任せではなく、市民が考え、市民が動いて作っていくことを目指しています。今回の計画に、みんなはどう思っているのでしょうか？

市民の意見

※大久保地区公共施設再生～集約対象施設跡民間活用に関する意識調査～より

住んでいるまちのことを考えるきっかけにもなるね！



街に愛着や誇りがあり、これからも住み続けたい

62%!

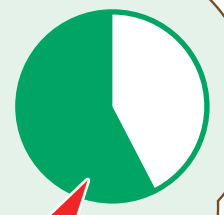
公共施設を使っていない

約80%!



これからの行政サービスの量を増やすべき

58%!



将来世代に負担を残すことに危機感を持っている

75%!

公共サービスの維持に市民負担が増えることを受け入れられない

47%!



価値観が多様化する世の中。行政だけで進める計画では限界…。将来世代にも負担が…。



仕事や学校帰りにも利用して、いろんな人とつながりたい！

行政

将来世代に負担を残さず、みんなが欲しい機能って、なんだろう？

カフェとかあると、集まりやすくて地域のこと話せるよね！

市民

協力連携

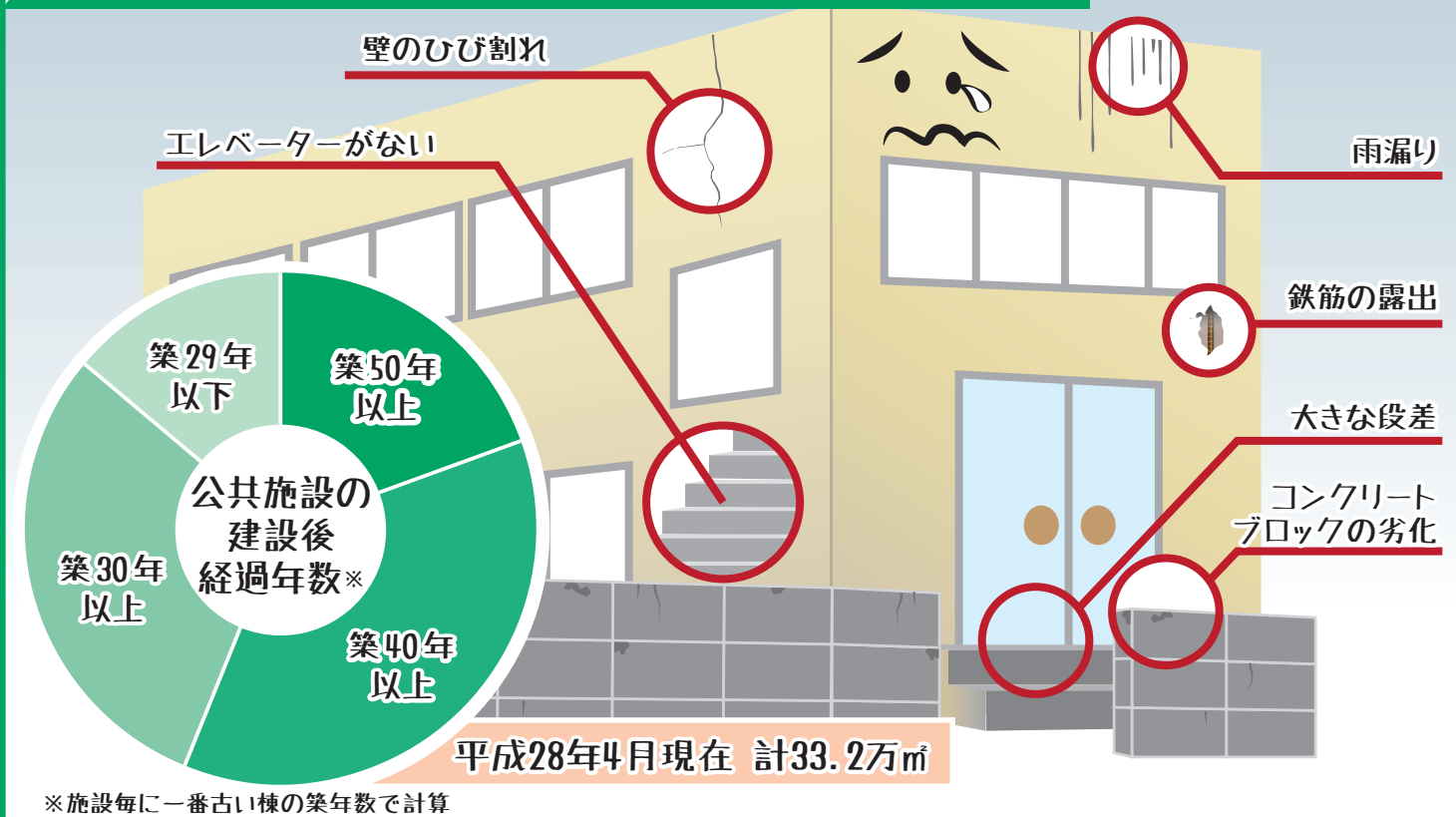
民間事業者

新しい施設ができて、街がにぎわえば出店を検討したい！

みんなで考えて、多様な価値観を反映させた機能ができるといいな！

* NOW ! 習志野市の公共施設の“今”

習志野市の公共施設は、老朽化が進んでいます



全ての建物を安全で快適にするには？



現在ある施設を
全て建て替え・改修
するのに必要な金額

1年あたり
38億円

どうしても
お金が足りない…

実際に習志野市から
出せる金額 = 1年あたり
15億円

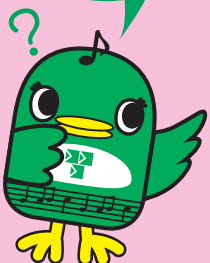
人口減少や少子超高齢化で、税収は減少すると見込まれているんだ。

一方で社会保障費が増加している今、将来を見据えると、公共施設には限られたお金しか使うことができないんだよ。

NEXT ▶▶

ではこの先
どうすればいいの？

あれ？
気になる！



Q：長期的な計画みたいだけど、すべて計画通り実施するの？

A：この計画は、平成26年から25年間の長期的な見通しを立ててつくられているよ。もちろん長い期間の中で社会の動きが変わることもあるから、その時々で見直ししながら進めていくよ。

Q：見直すのに、なぜ今計画を立てるの？

A：台風が来る時、天気予報で予想されている進路を見て、対策を立てるよね。公共施設も同じで、今後生じることを事前に想定して備えているんだ。将来の世代に負担をかけないように、これからの社会の動きを見据えて計画を立てているんだよ。

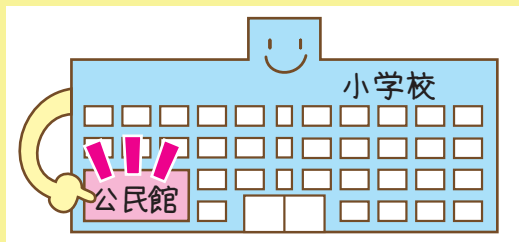
▶ POINT ◀ 公共施設再生の鍵となる3つの対策

1. 建物総量の圧縮

「1つの施設に1つの機能」という考え方を一新。1つの施設に複数の機能を持たせることで、機能はキープしたまま施設数を減らし、施設の維持にかかる費用を削減していきます。

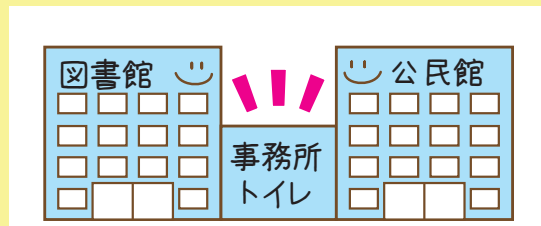
複合 1つの建物に複数の機能を持たせる

例えば… 小学校と公民館を一緒にし、一つの建物を利用する。



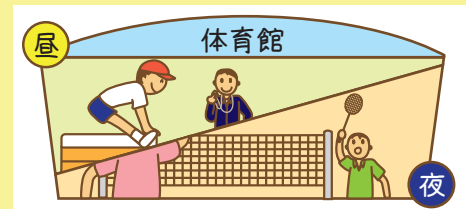
共用 複数の建物に共通する機能を一緒にする

例えば… 2つの建物にあるトイレや事務室などを一緒にして利用する。



多機能 1つの空間を時間で分け、複数の機能を持たせる

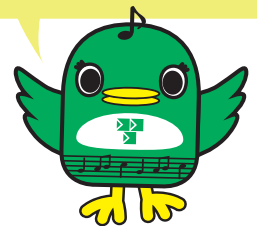
例えば… 体育館や校庭を、学校で使わない時間帯や曜日に地域の方が運動場として利用する



2. 新しい財源の創出

機能の統合・複合化によって使われなくなった建物や土地について、検討したうえで原則として民間に売却・貸付することで、**新たな財源**を生みだします。その場所を活用し、住宅の建設や企業活動が行われることによって、将来的に**新たな税収**も期待できます。

3つの対策に加え、市民へのアンケートや各地区の人口の変化などを踏まえた上で、総合的な視点から約120の施設の配置が見直されたんだ。



3. 建物を長持ちさせる工夫

設備や建物が壊れる前に、計画的にメンテナンスすることにより、性能や機能を維持し**長寿命化**を図ります。**事後保全から予防保全**に切り替え、コストを削減していきます。

この続きは地域情報サイト「まいぷれ習志野」へアクセス！



まいぷれ習志野では「公共施設再生計画」についてわかりやすく解説。これからどんなまちづくりが行われていくか、現場で取材を重ねています。習志野市が時代を見据えてどんな取り組みをしているか、ぜひご覧ください。

まいぷれ習志野

MY PLACE ♪ MY PLEASURE

まいぷれ

